

福島第一原子力発電所 既設多核種除去設備(A) 移送ポンプ出口弁グランド部からの漏えいについて

< 参 考 資 料 >
2019年10月10日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

【概要】

- 本日(10月10日)、午前9時47分、既設多核種除去設備(A)移送ポンプ出口弁グランド部^{※1}から水が漏えい(滴下)していることを、現場パトロール中の協力企業作業員が発見しました。
- 漏えい範囲は約10cm×15cm×深さ1mmで、漏えいした水は堰内に留まっています。
- その後、当該弁グランド部について、増し締めを実施し、午前11時39分、漏えいが停止したことを当社監理員が確認しました。
- 水の分析結果^{※2}は以下の通りです。
 - ・セシウム134 : 1.43 Bq/L
 - ・ストロンチウム90 : 検出限界値未満($<3.623 \times 10^{-1}$ Bq/L)
- この漏えいに伴い、敷地周辺モニタリングポスト、連続ダストモニタに有意な変動はございません。
- 今後、当該弁の分解点検を実施し、適切に対策を講じてまいります。

※1 : パッキンとして弁(弁棒)のシール材として使用

※2 : 漏えい量が少なくサンプリング出来ないため直近(2019年9月3日)の分析結果

【時系列】

- | | |
|-----------|-----------------------------------------------------------------|
| 午前9時47分 | 既設多核種除去設備(A)移送ポンプ出口弁グランド部から水が漏えい(滴下)していることを、現場パトロール中の協力企業作業員が発見 |
| 午前10時16分頃 | 当該漏えい箇所についてビニール袋養生、およびウエスでふきとりを実施 |
| 午前11時39分頃 | 当該弁グランド部の増し締めを行い、漏えいが停止したことを確認 |

【参考】 系統図および漏えい箇所等

